

県立特別支援学校 学校事故事例集

～児童生徒等の怪我編～



千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課
令和5年3月

目次

はじめに	1
事故事例集を活用するにあたって	2
1 活動場所の安全確認ができていなかったケース	3
2 児童生徒等への安全指導が不十分であったケース	4
3 児童生徒等から目を離してしまったケース（校外学習）	5
4 児童生徒等から目を離してしまったケース（授業中）	6
5 児童生徒等から目を離してしまったケース（教室内）	7
6 児童生徒等の動きを予想できなかったケース	8
7 原因が特定できなかったケース	9
8 初期対応が遅れたケース	10
9 児童生徒等が行方不明になってしまったケース	11
10 異物を誤飲してしまったケース	12
11 作業学習中に怪我をしてしまったケース	13
参考資料	14

はじめに

学校は、児童生徒等が日々安心して学ぶ教育活動の場として、安全な環境である必要があります。各学校においては、「学校安全の手引き」（令和2年3月千葉県教育委員会）をもとに学校安全計画の策定と危機管理マニュアルの作成を行い、安全教育や安全管理に取り組んでいます。

しかしながら、教育の場には、日常的に危険が潜んでおり、児童生徒等の怪我につながるような事故も起こることがあります。

千葉県教育委員会では、平成24年度に「特別支援学校におけるヒヤリハット事例活用ハンドブック～学校事故の未然防止をめざして～」を作成し、学校における事故に対する、教職員の危機管理意識の啓発を図ってきました。しかし、実際に県に報告された事故の中には、事故を未然に防ぐことができたと思われるものや事故発生後の校内対応の見直しが必要と思われるものも確認されています。

今回、これまでに事故報告のあった中から主に児童生徒等の怪我に係る事例を参考に「学校事故事例集～児童生徒等の怪我編～」を作成しました。

実際に特別支援学校で起こった事故の事例を共有することで、学校における事故の様々なケースを想定し、事故の未然防止策や事故発生時の対応マニュアル等を見直し、児童生徒等のための、安全・安心な学校づくりに役立てていただければと思います。

令和5年3月

千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課長 松田 厚

事件事例集を活用するにあたって

今回作成した「学校事件事例集」は、近年、県教育委員会に報告のあった事例を参考にして、具体的なケースごとにまとめております。事件事例の記載事項については、各事例の概要や対策を明確にするため「考えられる原因」「再発防止策」の項目に整理し編集しております。

また、下段の枠囲みには、事故防止の観点から教育委員会からのアドバイスや学校の安全管理において大切にしたい点等を付記しておりますので、参考にしてください。

なお、事例は、実際に発生した事故と変更している箇所があることをお断りいたします。

学校における事故対応については、引き続き「学校事故対応に関する指針」（平成28年3月文部科学省）や「学校安全の手引き」（令和2年3月千葉県教育委員会）に基づき、校内の体制を整え、適切な対応をお願いします。事件事例については、各学校の実情に照らし合わせ、危機管理研修会等において有効活用し、教職員一人一人の危機管理に対する意識の向上を図るとともに、校内危機管理マニュアルの見直しに活かす等、学校生活の安全管理体制の整備に努めていただければと思います。



「学校安全の手引き」（令和2年3月千葉県教育委員会）